# 令和6年度 京都府公立大学法人決算

P1・2 貸借対照表の概要

P3・4 損益計算書の概要

P5・6 セグメント情報

P7 費用・収益構成比 (円グラフ)

P8・9 主な活動指標(大学・病院)

令和7年6月 京都府公立大学法人

# 令和6年度決算の概要

【単位:百万円】

### ■貸借対照表の概要

		F 十 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	負債の部		
28,692	固定負債	14,537	
57	長期繰延補助金等	1,067	
18,933	長期借入金	13,011	
2,737	長期リース債務等	458	
4,402	流動負債	17,428	
1,896	寄附金債務	3,130	
70	前受受託研究·共同研究·受託事業費	1,219	
34	未払金	7,469	
11	賞与引当金	870	
548	一年以内返済予定長期借入金(短期借入金含む)	3,822	
10,338	その他	915	
810	負債合計	31,965	
8,805	純資産の部		
605	資本金	38,245	
35	資本剰余金	△ 26,385	
80	繰越欠損金	△ 4,794	
	純資産合計	7,065	
39,031	負債·純資産合計	39,031	
	57 18,933 2,737 4,402 1,896 70 34 11 548 10,338 810 8,805 605 35 80	28,692固定負債57長期繰延補助金等18,933長期借入金2,737長期リース債務等4,402流動負債1,896寄附金債務70前受受託研究・共同研究・受託事業費34未払金11賞与引当金548一年以内返済予定長期借入金(短期借入金含む)548その他810負債合計8,805純資産の部605資本金35資本剰余金80繰越欠損金純資産合計	

### 建物、構築物 189億3千3百万円(12億2百万円減)

附属病院中央診療棟CVCF装置更新工事による増(90) 北部医療センターリモートユニット更新による増(58) 減価償却累計額の増(△1,420)

### 機械及び装置 27億3千7百万円(2億1百万円減)

減価償却累計額の増(△201)

### 工具・器具及び備品 44億2百万円(9億3千万円減)

附属病院サージカルロボットシステム整備による増(209) 減価償却累計額の増(△955)

### 長期借入金 130億1千1百万円(7億8千3百万円減)

ー年以内返済予定長期借入金(償還金)の減(流動負債へ)(△1,622) 府からの施設整備資金借入(839)

### 繰越欠損金 △47億9千4百万円(35億8千8百万円増)

当期総損失(3,588)

# 貸借対照表の前年度比較

						(単位:白力円)
	項	目	6年度	5年度	増減	增減理由
[	固定	2資産	28,692	31,299	△ 2,606	
		有形固定資産	28,178	30,485	△ 2,306	
		土地	57	57	0	
		建物、構築物 (仮勘定を含む)	18,933	20,135	△ 1,202	附属病院中央診療棟CVCF装置更新工事による増 (90) 北部医療センターリモートユニット更新による増 (58) 減価償却累計額の増 (Δ1,420)
		機械・装置	2,737	2,938	△ 201	減価償却累計額の増(△201)
		工具、器具、 備品	4,402	5,332	△ 930	附属病院サージカルロボットシステム整備による増 (209) 減価償却累計額の増 (△955)
		図書	1,896	1,885	10	
		美術品	105	105	0	
		車両等		28	17	
資 産		無形固定資産	214	516	△ 302	減価償却累計額の増(△233)
		投資、その他	299	298	1	
		有価証券	136	116	20	
		長期未収入金	163	182	△ 18	
1	流重	协資産	10,338	11,275	△ 937	
		現金及び預金	810	1,822	△ 1,012	経常損失に伴う預金の減
		未収学生納付金	23	18	4	
		未収附属病院収入	8,206	8,097	109	2、3月入院診療実績増等による未収附属病院収入の増
		その他未収入金	576	670	△ 94	
		有価証券	0	20	△ 20	
		棚卸資産	35	36	Δ1	
		医薬品・診療材料	605	588	17	
		その他	80	21	59	
貣	Y Y	産 合 計	39,031	42,575	△ 3,543	

	固定	定負債	14,537	15,642	△ 1,105	
		長期繰延補助金等	1,067	1,140	△ 73	
		長期借入金	13,011	13,794	△ 783	一年以内返済予定長期借入金(償還金)の減(流動負債へ)(△1,622) 府からの施設整備資金借入 (839)
		長期リース債務等	458	707	△ 248	
負	流重	协負債	17,428	15,097	2,331	
債		寄附金債務	3,130	2,979	151	
		前受受託研究・事業等	1,219	1,195	24	
		未払金	7,469	7,634	△ 164	
		その他	5,608	3,287	2,320	
	負債 計		31,965	30,739	1,225	
	資本	<b>b</b> 金	38,245	38,245	0	
	資本	<b>卜剰余金</b>	△ 26,385	△ 25,203	△ 1,181	
紬		資本剰余金	2,542	2,446	95	
純資産		減価償却相当累計額等	△ 28,927	△ 27,649	△ 1,277	
性	繰走	<b>述</b> 欠損金	△ 4,794	△ 1,206	△ 3,588	
		当期未処理損益	△ 4,794	△ 1,206	△ 3,588	
		純資産 計	7,065	11,835	△ 4,769	
負	債·	· 純資産 合計	39,031	42,575	△ 3,543	

### ■損益計算書の概要

【単位:百万円】

経常費用		経常収益	
教育経費	981	運営費交付金収益	10,323
研究経費	1,134	学生納付金収益	2,212
診療経費	29,385	附属病院収益	42,169
教育研究支援経費	441	受託研究費等収益	1,767
受託研究費等	1,392	寄附金収益	1,035
人件費	27,951	補助金等収益	936
一般管理費	1,178	雑益	578
財務費用	56	経常収益合計	59,023
経常費用合計	62,524	経常損失	△ 3,501
臨時損失	86	臨時利益	
当期総捐失	<b>∧</b> 3 588		·

### 附属病院収益 421億6千9百万円(30億2百万円増)

附属病院:入院診療収益の増(2,008) 外来診療収益の増(741)

がん治療センター:入院診療収益の増(11) 外来診療収益の減(△3)

北部医療センター: 入院診療収益の増(146) 外来診療収益の増(84)

### 補助金等収益 9億3千6百万円(6億7千8百万円減)

コロナ関連補助金(病床確保対策)の減(△899)

### 研究経費 11 億3千4百万円(2億8千8百万円減)

医 科 大 学 :R5 BNCTセンター減損処理による減価償却費の減(△356)

### 診療経費 293億8千5百万円(8億4千7百万円増)

附属病院:医薬品費の増(525) 医療材料費の増(435)

修繕費の減(△48) その他委託費(△27)

がん治療センター:保守委託費の減(△23)

北部医療センター: 医薬品費の増(46) 医療材料費の減(△18) 修繕費の減(△50)

保守委託費の減(△41) その他委託費の減(△137)

### 人件費 279億5千1百万円(23億3百万円増)

府人事員会勧告に準拠した給与改定(786)

非常勤職員への勤勉手当の支給による増(463)

定年延長による退職手当の隔年ごと増(448)

### 受託研究費等 13億9千2百万円(4千7百万円増)

(受託研究等収益 17億6千6百万円(78百万円増))

### 一般管理費 11億7千8百万円(4千8万円増)

修繕費の増(45)

# 損益計算書の前年度比較

				R6	R 5	増減	增減理由
	業務費		61, 289	58, 237	3, 052		
		教育	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	981	947	34	
		研究		1, 134	1, 423	△ 288	⑤BNCTセンターの減損処理による減価償却費の減 (△356)
		教育	所究支援経費 可可	441	331	110	
		診療	聚経費	29, 385	28, 538	847	
			医薬品費	11, 511	10, 939	572	【附属病院】 医薬品費の増(525)医療材料費の増(435) 【北部医療で】
			医療材料費	7, 124	6, 704	419	氏れの医療の    医薬品費の増(46) 医療材料費の減(△18)   保守委託費の減(△41) その他委託費の減(△137)
経			その他	10, 750	10, 895	△ 145	
常		人件	+費	27, 951	25, 648	2, 303	
費用			役員人件費(退手除)	20	20	0	
/13			役員退職手当	0	0	0	   府人事員会勧告に準拠した給与改定による増(786)
			教員人件費(退手除)	7, 927	7, 686	241	非常勤職員への勤勉手当の支給による増(463)
			教員退職手当	537	286	250	定年延長による退職手当の隔年ごと増(448) 
			職員人件費(退手除)	18, 734	17, 293	1, 441	
			職員退職手当	731	361	370	
		受評		970	911	59	
		共同	可研究費	393	407	Δ 13	
			£事業費	29	28	1	
	— 舟	 ひ管理		1, 178	1, 129	48	   修繕費の増(45)
	<u> </u>	多費月		56	35	21	短期借入金等の利息の増
	7	,,,,,,,	·· 計	62, 524	59, 402	3, 122	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	電点	当事で					
	<u> </u>		交付金収益 + ヘルギ	10, 323	9, 974	349	
	字3		寸金収益	2, 212	2, 192	20	
		授業		1, 917	1, 916	1	
		入学		237	226	10	
	_	人字	<sup>丝</sup> 考査料 ————————————————————————————————————	57	49	8	
	附原	属病院	完収益	42, 169	39, 167	3, 002	【附属病院】
経常		入院	記療収益	27, 188	25, 022	2, 166	入院診療収益の増 (2,008)   外来診療収益の増 (741)   fがん C     入院診療収益の増 (11)   外来診療収益の減 (△3)   【北部医療 C
E収益		外来	₹診療収益	14, 694	13, 873	821	入院診療収益の増(146) 外来診療収益の増(84)
	受討	七研究	克収益	1, 297	1, 217	80	
	共同	可研究	克収益	440	444	Δ 3	【医大】受託研究収益の増(42) 【府大】受託研究収益の増(47)
	受討	毛事美	業等収益	29	28	1	· NUINA 又可例乃仍無以相(刊)
	寄附	付金川	又益	1, 035	776	259	【医大】寄附金収益の増(181) 【府大】寄附金収益の増(57)
	補助	力金等	等収益	936	1, 614	△ 678	病床確保補助金の減(△899)
	雑五	盍		578	568	9	
	計		59, 023	55, 984	3, 038		
			経常損益	△ 3, 501	△ 3, 418	Δ 83	
	;	減価	償却費 (再掲)	2, 570	2, 918	△ 347	
			臨時損失	86	762	△ 676	⑤BNCTセンターの減損処理
			臨時利益	0	7, 749	△ 7,749	⑤会計処理変更による臨時利益の計上
			当期総損益	△ 3,588	3, 568	△ 7, 156	

### セグメント別損益計算書の状況

										単位:日万円)
		区	分	法人本部	医科大学	附属病院	がん治療 研究センター	北部医療 センター	府立大学	合計
	業	務費		147	7, 448	39, 773	899	8, 842	4, 178	61, 289
		教育紹	費	0	555	0	0	6	419	981
		研究紹	費	0	842	0	0	25	267	1, 134
		診療経	費	0	0	<b>24</b> , <b>317</b> (23, 257)	<b>727</b> (765)	<b>4</b> , <b>340</b> (4, 515)	0	29, 385 (28, 538)
経		教育研	究支援経費	0	289	11	0	0	141	441
常費		受託研	f究費	0	672	8	0	0	289	970
用		共同研	f究費	0	343	0	0	8	41	393
		受託事	業費	0	11	8	0	0	10	29
		人件費	Ì	147	4, 733	15, 427	171	4, 461	3, 009	27, 951
	_	·般管理	費	117	765	0	0	0	294	1, 178
	財	務費用		8	3	37	0	4	2	56
		計		273	8, 217	39, 811	899	8, 847	4, 476	62, 524
	運	営費交	付金収益	0 (0)	4, 611 (4, 497)	2, 127 (2, 467)	0 (0)	1, 369 (854)	2, 214 (2, 155)	10, 323 (9, 974)
	学	生納付	金収益	0	818	0	0	0	1, 394	2, 212
	陈	属病院	即益	0	0	35, 241 (32, 491)	<b>496</b> (489)	6, <b>430</b> (6, 185)	0 (0)	<b>42</b> , <b>169</b> (39, 167)
経	受	託研究	2収益	0	956	62	0	0	278	1, 297
常収	#	:同研究	2収益	0	392	0	0	8	39	440
益	受	託事業	等収益	0	11	8	0	0	10	29
	寄	附金収	<b>以益</b>	0	838	49	0	0	146	1, 035
	補	助金等	収益	0	249	456	0	206	24	936
	雑	益	Ē	0	255	180	0	60	82	578
		計	•	0	8, 133	38, 127	496	8, 075	4, 190	59, 023
		業務技	員益	<b>△ 273</b> (△255)	<b>△ 83</b> (△240)	<b>△</b> 1, 684 (△1, 224)	<b>△ 402</b> (△450)	<b>△ 772</b> (△974)	<b>△ 285</b> (△272)	<b>△</b> 3, 501 (△3, 418)
· ·	咸伯	<b>五</b> 償却發	費(再掲)	4	322	1, 347	220	465	209	2, 570
		臨時打	員益	0 (0)	△ 14 (2, 009)	△ 7 (178)	(3, 074)	△ 64 (516)	0 (1, 208)	△ 86 (6, 987)
	1111	当期総		△ 273 (△255) (☆未満切捨に	△ 98 (1, 769)	△ 1,691 (△1,045) 致しない場合	△ 402 (2, 623)	△ 836 (△457)	Δ 285 (935)	△ 3, 588 (3, 568)

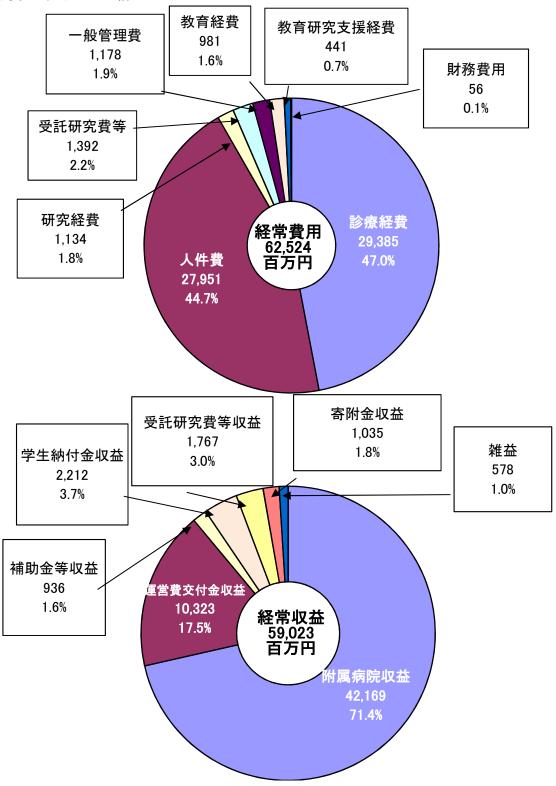
注)数値については、単位未満切捨により、計が一致しない場合があります。 () は、令和5年度決算額

# セグメント別前年度比較

	T				(単位:百万円)
		6年度	5年度	増減	增減理由
	経常費用	273	255	17	職員人件費(退手除く)の増(26)
法人本部	経常収益	0	0	0	
	業務損益	△ 273	△ 255	Δ 17	
	経常費用	8,217	7,939	277	教員人件費(退手除く)の増 (194)、教職員退手の増(133)、職員人件費(退手除く)の増(92)、教育研究支援経費の増(82)、 ⑤BNCTセンターの減損処理による減価償却費の減 (Δ356)
医科大学	経常収益	8,133	7,699	433	運営費交付金収益の増(114)、寄付金収益の増(181)、 補助金等収益の増(76)
	業務損益	△ 83	△ 240	156	
	経常費用	39,811	37,408	2,403	医薬品費の増 (525)、医薬材料費の増 (435)、 機器保守費の増 (62)、 職員人件費の増(1,065)、教職員退手の増(286)
附属病院	経常収益	38,127	36,183	1,943	入院診療収益の増(2,008)、外来診療収益の増(741)、 運営費交付金収益の減(公339)、 コロナ関連補助金(病床確保対策)の減(公556)
	業務損益	Δ 1,684	Δ 1,224	△ 459	
	経常費用	899	940	△ 41	診療経費の減 (△38)
最先端がん治療 研究センター	経常収益	496	489	7	入院診療収益の増(11)
	業務損益	△ 402	△ 450	48	
	経常費用	8,847	8,581	265	保守委託費の減 (△41)、その他委託費の減(△137)、 教員人件費の増(50)、教員退職手当の増(29)、 職員人件費の増(223)、職員退職手当の増(131)
北部医療センター	経常収益	8,075	7,607	467	入院診療収益の増 (146)外来診療収益の増 (84)、コロナ関連補助金(病床確保対策)の減 (△343)、運営費交付金収益の増 (514)
	業務損益	△ 772	△ 974	202	
	経常費用	4,476	4,275	200	研究経費の増(8)、教育研究支援経費の増(27)、 受託研究費の増(64)、教職員退手の増(39)
府立大学	経常収益	4,190	4,003	187	運営費交付金収益の増(59)、受託研究収益の増(47)、 寄附金収益の増(57)
	業務損益	△ 285	△ 272	Δ 12	
	経常費用	62,524	59,402	3,122	
法人全体	経常収益	59,023	55,984	3,038	
	業務損益	△ 3,501	△ 3,418	△ 83	
	臨時損益	△ 86	6,987	△ 7,073	
	当期総損益	△ 3,588	3,568	△ 7,156	

注)数値については、単位未満切捨により、計が一致しない場合があります。

### 経常費用・経常収益の構成比



## 主な活動指標について

### ■大学部門

〇外部資金の状況 (単位:百万円)

区 分	6 年度	5年度	増減
受託研究	1, 322	1, 397	△75(94.6%)
共同研究	4 3 1	4 4 2	△ 1 1 (97.5%)
寄附金	1, 186	905	2 8 1 (131.0%)
小 計	2, 939	2, 745	1 9 4 (107.0%)
科学研究費補助金	876	767	1 0 9 (114. 2%)
合 計	3, 816	3, 513	3 0 3 (108.6%)

### ■附属病院

### 〇診療実績

		6年度	5年度	増減
患者数	入院(人)	199,275	181, 975	17,300 (109.5%)
数	外来(人)	470,546	462, 852	7,694 (101.7%)
診	入院(百万円)	23,380	21,355	2,025 (109.5%)
診療実績	外来(百万円)	12,141	11,355	7 8 6 (106.9%)
績	計 (百万円)	35,522	32,710	2,812 (108.6%)
平均	在院日数(日)	10.6	1 0. 9	Δ0. 3
新規	入院患者数(人)	17,212	15, 246	1,966 (112.9%)
救急	患者数(人)	16,178	8, 763	7,415 (184.6%)
手術	件数(件)	8,848	8, 308	5 4 0 (106.5%)
診療	経費(百万円)	24,317	23,257	1,060 (104.6%)
	医薬材料費 (百万円)	16,605	15,645	9 6 8 (106.2%)
	医薬材料費率(%)	47.1	48.1	Δ1.0

#### 【患者数】

外来患者数について、対前年度で新来患者数の増加により 1.7%増加した。入院患者数について、救命救急センターの開設による救急患者数の受入増加や配分病床の見直し等により、対前年度で新規入院患者数は 12.9%増加し、延べ入院患者数も 9.5%増加となった。平均在院日数は、手術の低侵襲化や新規入院患者数の増加に伴う適切な入退院調整により、対前年度で 0.3 日短縮した。

### 【診療実績】

入院について、患者数や手術件数の増、高額な医薬品や医療材料の使用に伴う診療単価の上昇により、診療収入は 9.5%増加した。

外来について、患者数の増加や高額な医薬品等の使用に伴う診療単価の上昇により、診療収入は 6.9%増加した。

### 【診療経費】

手術件数の増加等により、医薬材料費は 6.2%増加し、医薬材料比率は 47.1%となった。

### ■最先端がん治療研究センター

### 〇診療実績

	6年度	5年度	増 減
新規患者数(人)	2 6 7	280	Δ13
診療実績(千円)	496, 655	489, 590	7, 065

### ■北部医療センター

### 〇診療実績

		6年度	5年度	増 減
患者数	入院 (人)	67, 802	65, 686	2, 1 1 6 (103.2%)
数	外来(人)	133, 888	130, 295	3, 5 9 3 (102.8%)
診	入院(百万円)	4, 053	3, 908	1 4 5 (103.7%)
₩ 療実	外来(百万円)	2, 281	2, 201	8 0 (103.6%)
績	計 (百万円)	6, 334	6, 109	2 2 5 (103. 7%)
平均	在院日数(日)	12.4	12.6	Δ0. 2
新規	入院患者数(人)	5, 548	5, 352	1 9 6 (103. 7%)
救急	患者数(人)	8, 910	8, 802	1 0 8 (101.2%)
手術	件数(件)	2, 350	2, 548	Δ198 (92.2%)
診療	経費(百万円)	3, 873	4, 087	△214 (94.8%)
	医薬材料費 (百万円)	2, 023	1, 996	2 7 (101.4%)
医薬	材料費率(%)	31.5	32.3	Δ0.8

### 【患者数】

入院は、呼吸器内科の診療体制の強化等に伴い、新規入院患者数が対前年度比 3.7%増加するなど、1日平均の患者数が対前年度比 6.3 人増加した。

外来は、歯科外来の体制強化等に伴い、1 日平均の初診患者数が対前年度比 23.5%増加するなど、1 日平均の患者数が対前年度比 12.6 人増加した。

#### 【診療実績】

入院は、病床稼働率が対前年度比9.4%向上したことにより、増収となった。

外来は、新規患者数が増加したことや、外来の化学療法や診療時の各種検査等の増加による 診療単価が対前年度比 0.8%増加したことにより、増収となった。

### 【診療経費】

医療機器保守の仕様見直しによる委託費の削減、ベンチマークを用いた価格交渉や安価な同等品への切替えによる医薬材料費、消耗品費の削減、機器修繕の内容や施設修繕の工法の見直 しによる修繕費の削減などの取組により、診療経費が減少した。